

**平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「セント・アンズ・ベイ地域病院医療器材整備計画」贈与契約署名式**

2017年11月15日、山崎大使は保健省にて行われた、平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「セント・アンズ・ベイ地域病院医療器材整備計画」の贈与契約署名式に出席し、67,566米ドルの贈与契約に署名を行いました。

セント・アンズ・ベイ地域病院では、年間約4,000件の出産を行っているにも関わらず、妊産婦の健康状態をチェックする超音波検査器を1台しか保有していないため、全ての妊産婦患者に適切なタイミングで検査を行うことができていません。そのため、子宮外妊娠・分娩前出血・分娩合併症等、妊婦や胎児の生命に関わる症状の発見が遅れるなどのケースが散見されていました。

当プロジェクトでは、同病院に最新の妊産婦用超音波検査器を1台供与し、全ての妊産婦患者に適切なタイミングで検査を行うことを可能にし、妊産婦死亡率および胎児死亡率を低下させ、母子保健機能の向上に寄与することを目的としています。

署名式には、クリストファー・タフトン保健大臣、サンシア・ベネット・テンプラー保健省次官、セント・アンズ・ベイ地域病院事務局長のレオ・ギャレル氏、セント・アン商工会議所会頭のピクスレイ・アイロンズ氏、保健省関係者が参列し、日本と同病院および保健省との新たなパートナーシップの始まりを祝いました。

タフトン大臣は当プロジェクトが、現在の保健省が重要課題として取り組んでいる保健・医療関連のインフラ整備事業の方針に合致しており、とても有益であると賞賛すると共に、日本政府および国民に感謝を述べました。

山崎大使は、保健分野への支援は人々が健康で幸せな生活を送るための重要な基盤となる、という人間の安全保障の基本理念に触れ、本プロジェクトが多くの人々の健康と安全な生活を守るために役立つことを期待すると述べました。



(左) 小切手の受け渡し

(右) 左より、テンプレー保健省次官、タフトン保健大臣、山崎大使、ギャレル事務局長



(左) タフトン大臣の立会の下、山崎大使およびギャレル事務局長の署名

(右) 山崎大使のスピーチ